



『電電四国』チームが準優勝

——第4回社会人野球日本選手権——

おめでとう！
よくやった

10月23日から甲子園球場でダイヤモンド旗をかけて全国からの強豪22チームにより熱戦がくりひろげられた、第4回社会人野球日本選手権大会（毎日新聞社、日本社会人野球協会主催）に四国代表として出場した「電電四国」チームは最終日の30日、強豪住友金属と対戦、惜しくも優勝はのがしたものの、準優勝トロフィーを初めて四国路にもたらした。

翌11月1日には大トロフィーとともに準優勝メダルを胸にした各ナインが通信局中庭に凱旋、工藤通信局長をはじめ、江口副局長、小林建築部長（応援団長）からそれぞれ祝福のこたばを受け、出迎えた多数の職員から盛んな拍手が送られた。

▶ 大会終了後、表彰式で準優勝トロフィーを
うける菊池哲秋主将。

試合経過

▽2回戦（10・26）
電電東京（関東）
0000000000
0000200000

電電四国（四国）
0000400000
0000000000

▽準々決勝（10・28）
電電信越（中部）
0001000000
0000000000

電電四国（四国）
0000400000
0000000000

▽準決勝（10・29）
松下電器（近畿）
0000000000
0000200000

電電四国（四国）
0000200000
0000000000

▽優勝戦（10・30）
電電四国（四国）
0000000010
0000000010

住友金属（近畿）
1000000000
0000000010

個人表彰 ▽敢闘賞（トロフィー）
小原慶司（投手）
▽優秀選手
小原慶司、鎌土隆志（三塁手）、玉井隆彦（外野手）。



▲ 決勝戦9回表、電電二死一、三塁（バッター鎌土）のとき投手のワイルドピッチで三塁から幸田が生還、同点となる。